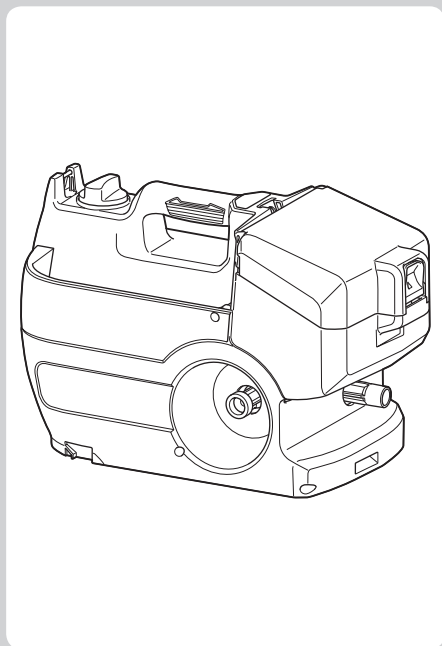


Makita

取扱説明書

充電式高圧洗浄機

モデル MHW080D



このたびは充電式高圧洗浄機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	2
充電式高圧洗浄機 安全上のご注意	11
各部の名称	18
標準付属品	19
別販売品について	22
ご使用前の準備	24
・まわりを整頓してからお使いください。	
・本製品を設置する	
・市販の水道ホースを使用する場合	
ご使用前の準備 (バッテリーについて)	25
ご使用前の準備 (高圧ホースの接続)	29
ご使用前の準備 (耐圧ホースの接続)	30
使い方	32
・バッテリー残容量表示機能	
使い方 (スイッチの操作)	33
使い方 (ノズルの選択)	35
使い方 (ノズルの取り付け)	36
使い方 (本製品を収納ケースに設置)	37
使い方 (洗浄)	38
使い方 (トローリへの載せ方)	40
使い終わったら	41
ため水を利用した使い方	44
保護機能	49
・本製品およびバッテリーの保護機能	
故障かな?と思ったら	50
充電器について	51
こんなときは?	59
保守・点検について	60
・ノズル穴の清掃	
・フィルタの清掃	
・本製品のお手入れ	
・ご修理の際は	
主要機能	62
充電式高圧洗浄機 保証書	64

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

使用環境

- 1** ご使用されるときは、周辺を整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所は、事故の原因となります。
- 2** 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電式製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- 3** 安全に責任を負う監督者がいない状況で、子供など補助を必要とする人を充電式製品に近づけたり、充電器および電源コードに触れさせないでください。
 - ・ けがの原因になります。

電気に関する安全事項

- 1** 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- 2** 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させた状態で充電式製品に触れないでください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
- 3** 充電式製品、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

- 4 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
- 5 使用環境に適した延長コードを使用してください。
- 6 USB 端子付きの充電式製品や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・針、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。
- 7 不意な始動は避けてください。
 - ・充電式製品を持ち運ぶときは、電源が切れていることを確かめてください。
 - ・電源ボタンやスイッチに指をそえて持ち運ばないでください。

充電式製品の使用および手入れ

- 1 電源ボタンやスイッチに異常がないか点検してください。
 - ・電源ボタンやスイッチで始動および停止操作のできない充電式製品は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
- 2 充電式製品の誤始動を防ぐために、次の作業前は電源ボタンやスイッチを切り、バッテリーを充電式製品から抜いてください。
 - ・調整、付属品の交換
 - ・保管、または修理
 - ・充電式製品から離れるときや、受け渡し
 - ・その他、危険が予想される時

⚠ 警告

- 3** 使用しない充電式製品、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。(バッテリーカバー付きの場合)

- 4** 子供に充電式製品、充電器およびバッテリーで遊ばせないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

- 5** 部品の破損や取り付け状態など、使用に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。

- 6** 取扱説明書で指定した付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、充電式製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

- 7** 充電式製品、付属品やアタッチメントなどは、目的に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

- 8** 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。



警告

バッテリーに関する安全事項

- 1** バッテリーを挿し込む前に、電源ボタンやスイッチが切れていることを確認してください。
 - ・電源ボタンやスイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを挿し込むと事故につながります。
- 2** バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 3** マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・充電式製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
- 4** バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・充電式製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。（バッテリーカバー付きの場合）
- 5** 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
- 6** バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 7** バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告

- 8 バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 9 バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 10 バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 11 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 12 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
- 13 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 14 バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。（右図の○部分）



⚠ 警告

整備

- 1 充電式製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 充電式製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 充電式製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 充電式製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

- 1 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。電源ボタンやスイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - <異常・故障例>
 - ・ 充電式製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 充電式製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ 電源ボタンやスイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

- 2** 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- 3** ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災の恐れがあります。
- 4** 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
- 5** 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- 6** 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- 7** 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

8 正しく充電してください。

- ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- ・昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・周囲温度が 10 °C 未満、または周囲温度が 40 °C 以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- ・充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

9 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・感電の恐れがあります。

10 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の効率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

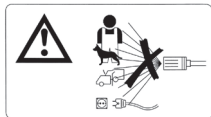
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

- ・先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式高圧洗浄機として、さらに次の注意事項を守ってください。

シンボルマーク（注意ラベル）の説明



- ・ノズルは、人、動物、通電された電気装置または機器本体に向けてはいけません。

充電式高圧洗浄機 安全上のご注意

⚠ 警告

- 1** 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって高圧洗浄機とその操作を理解した方以外、および子供には使用させないでください。
 - ・理解せずにご使用することは危険です。
- 2** 落雷の恐れがあるときは作業しないでください。
 - ・事故やけがの原因となります。
- 3** めかるんだ地面や濡れた坂道などのすべりやすい場所で作業を行うときは足元に注意してください。
 - ・事故やけがの原因となります。
- 4** 気温が低い環境や雨の中などの劣悪な環境下での長時間作業は避けてください。
 - ・事故やけがの原因となります。
- 5** 着用したままの衣類や靴などを洗浄したり、対象物を手で保持しないでください。
 - ・高圧水が、けがの原因になります。
- 6** すべりにくい靴をはき、無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
- 7** 正しい高圧ホース、付属品、アタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および当社カタログに記載されている高圧ホース、付属品、アタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- 8** 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・高圧洗浄機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、まわりの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。

⚠ 警告

- 9** 高圧洗浄機の修理は、専門店にお申し付けください。
 - ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- 10** 洗浄中は、人や動物を近づけないでください。
 - ・ 高圧水が、けがの原因になります。
- 11** ノズルの噴射口を人や動物に向けしないでください。
 - ・ 高圧水が、けがの原因になります。
- 12** ノズルの噴射口を通電された電気装置（本機を含む）に向けしないでください。
 - ・ 高圧水が、故障や感電の原因になります。
- 13** 使用する際は必ず本機を置き、安定した状態で使用してください。
 - ・ 故障や思わぬ事故の原因になります。
- 14** 噴射される高圧水に触れないでください。
 - ・ 高圧水が、けがの原因になります。
- 15** 保護メガネなどの保護具を着用し、素肌を露出しないでください。
 - ・ 高圧水が、けがの原因になります。
- 16** 可燃性液体、その他不適当な液体を使用しないでください。
 - ・ 事故または故障の原因になります。
- 17** 車のタイヤまわりは、ノズル先端から最低 30 cm 以上離して洗浄してください。
 - ・ 接近しすぎた場合、タイヤやブレーキを損傷させ、重大事故の原因となる場合があります。

⚠ 警告

- 18** 充電器の電源プラグ、電源コンセントなどに水がかからないようにしてください。
 - ・感電の恐れがあります。
- 19** 高圧ホースの定期点検を行ってください。また、高圧ホースに損傷や亀裂、変形がないことをよく点検してください。損傷や亀裂、変形のあるホースは使わずに新しいホースをお使いください。
 - ・損傷や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 20** 濡れた手でバッテリーや充電器の電源プラグ、電源コンセントに触れないでください。
 - ・感電の恐れがあります。
- 21** 水などの液体でバッテリーの端子を濡らしたり、バッテリーを水の中に入れてください。また、雨の中にバッテリーを放置したり、バッテリーを湿った場所で充電、使用、保管をしないでください。
 - ・バッテリーの端子が濡れたり、内部に水が入ると短絡（ショート）して過熱や発火、爆発の恐れがあります。
- 22** 作業する際は、トリガガン部を両手で確実に保持してください。
 - ・トリガガンを片手で操作しますと反動で先端部がはね上がり、けがの原因になります。
- 23** トリガガンを握った状態に固定しないでください。
- 24** 対象物から 30 cm 程度離して洗浄してください。
 - ・高圧水が跳ね返り、けがの原因になります。
- 25** 風上に向かって洗浄しないでください。
 - ・高圧水が吹き返され、けがの原因になります。
- 26** 高圧ホースを抜く前に、本機内圧をすべて抜いてください。
 - ・けがの原因になります。

⚠ 警告

- 27** 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
- ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 28** 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂がないことをよく点検してください。
- ・破損や亀裂があると、発煙や発火、また感電やけがの原因になります。

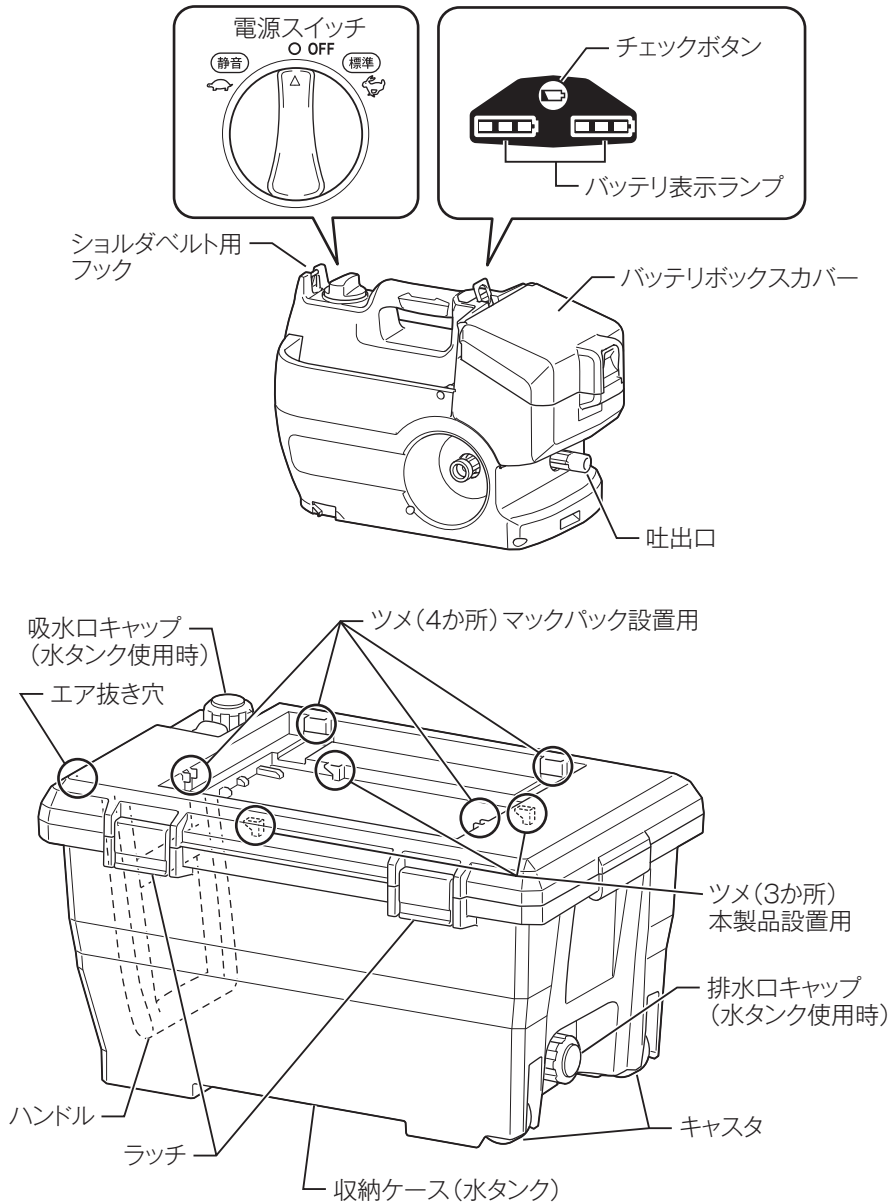
⚠ 注意

- 1** 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- 2** 本機を倒した状態で使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 3** 高圧ホースは、まっすぐに伸ばした状態で使用してください。
 - ・ 水漏れや故障の原因になります。
- 4** 同じ部分に連続して噴射しないでください。
 - ・ 対象物が破損する恐れがあります。
- 5** 洗浄物のラベル類周辺へは、直接噴射をしないでください。
 - ・ 高圧水により、ラベル類がはがれる原因になります。
- 6** 外壁などは、離れた場所に噴射して圧力を確認してから洗浄してください。
 - ・ 強すぎる圧力は、外壁材破損の原因になります。
- 7** 高圧ホースを腐食させるような洗剤は使用しないでください。
- 8** 40℃以上の水は使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 9** 川や池の水、砂や泥が混ざった水などは使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 10** 使用後は、本機内部の水を抜き、完全に乾かしてから保管してください。
 - ・ 季節や地域によっては、凍結による故障の恐れがあります。
- 11** 使用中に本機下部から少量の水漏れが発生することがありますので、設置場所にはご注意ください。

⚠ 注意

- 12 本機は、1 時間を越えて連続で使用しないでください。1 時間使用後は、本機を充分休ませてください。
- 13 雨の中でバッテリーを交換しないでください。
 - ・ 故障の恐れがあります。
- 14 充電器からはずしたバッテリーは、カバーを取り付けて乾燥した場所に保管してください。
- 15 本製品を水たまりなどに水没させたり、雨の中に放置しないでください。
 - ・ 故障の恐れがあります。
- 16 湿った葉や雨によって濡れたゴミなどが吸入口（風窓）に付着したときは取り除いてください。
- 17 雪に埋もれたり、凍結した状態で使用しないでください。
 - ・ 故障の恐れがあります。

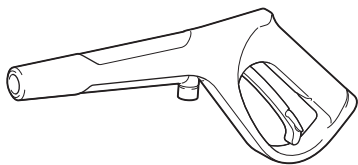
各部の名称



*エア抜き穴: 密閉状態で外気温が変化した場合、内圧の変化により収納ケースが変形してしまうのを防止するため設けています。

標準付属品

- ・ トリガガン



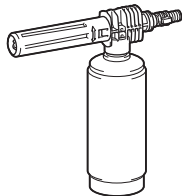
- ・ サイクロンジェットノズル



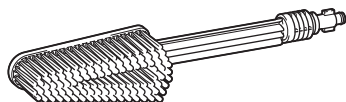
- ・ バリオスプレランス



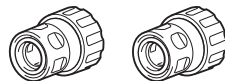
- ・ 泡ノズル



- ・ 洗浄ブラシ（縦型）



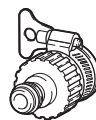
- ・ ワンタッチジョイント（2個）



- ・ 吸水コネクタ



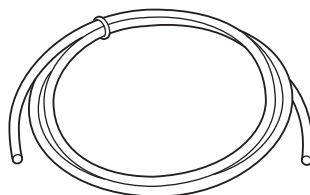
- ・ ホースクランプ



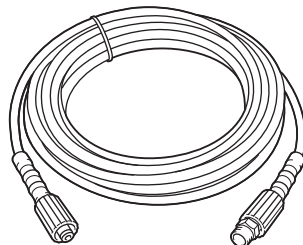
- ・ クリーナピン



- ・ 耐圧ホース 3 m（水道ホース）



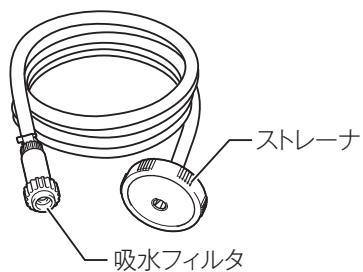
- ・ 高圧ホース 5 m



標準付属品

- ・ 自吸ホースセット
部品番号 A-61531

水道の設備がない場合に、ため水を利用して吸水するセットです。

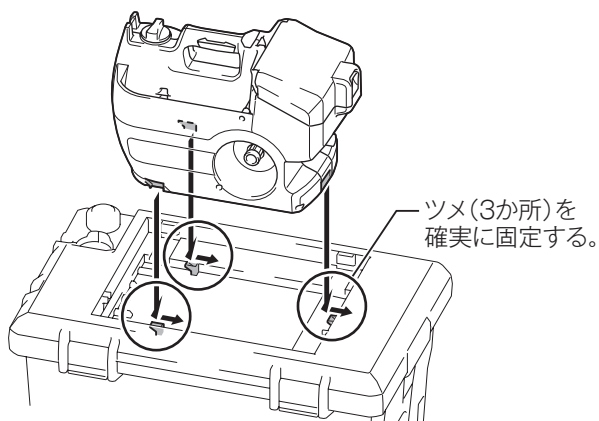


- ・ 2口急速充電器 DC18RD (MHW080DPG2 のみ)
- ・ バッテリー BL1860B (2個) バッテリーカバー付き (MHW080DPG2 のみ)

標準付属品

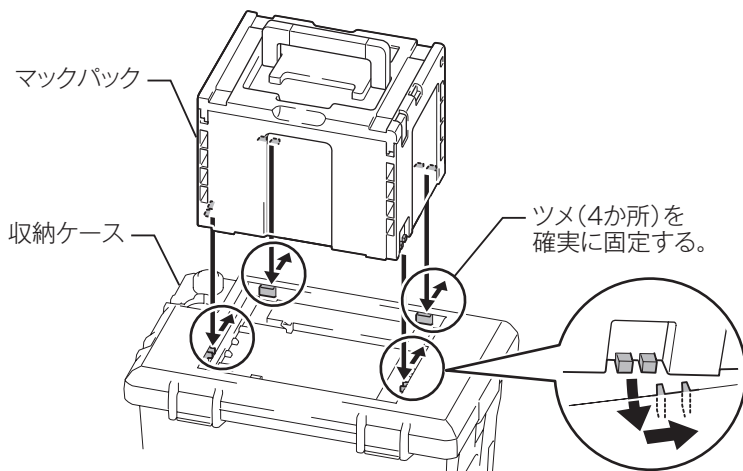
収納ケースの上に乗らないでください。ケースの破損やけがをする恐れがあります。また、下記以外の使い方をしないでください。

- ・ 付属品の収納
- ・ 自吸時の水タンク
- ・ 本製品の置台
 - ・ 本製品を載せたまま移動する際、ケースを傾けすぎると本製品が落下するので注意してください。



注

- ・ マックパックの置台
 - ・ マックパックを載せたまま移動する際、ケースを傾けすぎるとマックパックが落下するので注意してください。

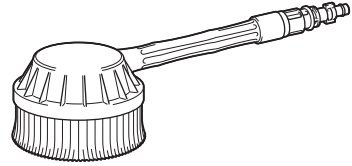


別販売品について

- ・ ショルダベルト
部品番号 166058-0

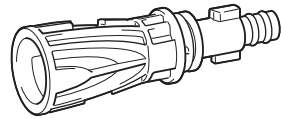
- ・ 回転ブラシ
部品番号 A-61547

水圧により中央のブラシが回転します。浴室や窓など、広い面積のブラシ洗浄ができます。



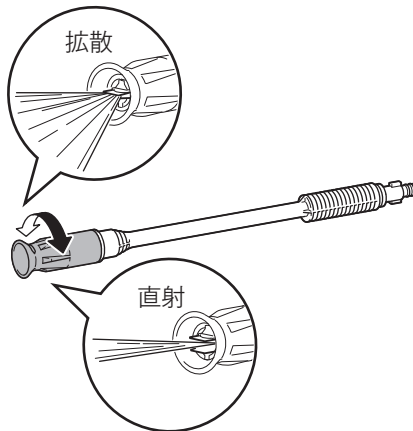
- ・ アダプタ
部品番号 A-61640

MHW0700/MHW0800 用の アクセサリを本製品のトリガガンに接続可能にします。



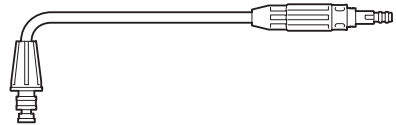
- ・ バリアブルノズル
部品番号 A-61519

直射⇔拡散の調整が可能で、いろいろな洗浄ができます。



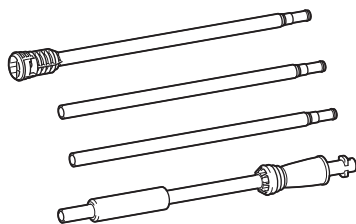
- ・ アンダーボディスプレーランス
部品番号 A-61581

車のアンダーボディや雨どいなど、届きにくい場所の洗浄に適しています。

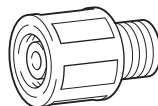


別販売品について

- ・ 延長パイプ
部品番号 A-61612
4本のパイプを組み合わせることで、3通りの長さが選べます。



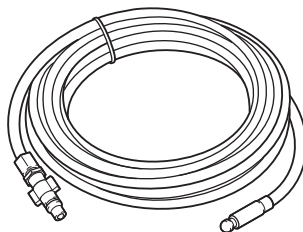
- ・ ネジレ防止ジョイント
部品番号 A-61606
高圧ホースどうしを接続して、ねじれや折れを防止します。



- ・ サイクロンガード
部品番号 A-61597
サイクロンジェットノズルを使用する際に水はねを防止します。



- ・ パイプクリーニングホース 10 m
部品番号 A-61569
- ・ パイプクリーニングホース 15 m
部品番号 A-61575
ホース先端から高圧水が逆噴射し、パイプの中を進みながら洗浄します。



- ・ バッテリ BL1815N (容量 1.5 Ah)
部品番号 A-60311
- ・ マックパック タイプ 1
部品番号 A-60501
- ・ バッテリ BL1820B (容量 2.0 Ah)
部品番号 A-61715
- ・ マックパック タイプ 2
部品番号 A-60517
- ・ バッテリ BL1830B (容量 3.0 Ah)
部品番号 A-60442
- ・ マックパック タイプ 3
部品番号 A-60523
- ・ バッテリ BL1860B (容量 6.0 Ah)
部品番号 A-60464
- ・ マックパック タイプ 4
部品番号 A-60539
- ・ トロリー
部品番号 A-60648
- ・ マックパック
タイプ 1 ~ 4 セット品
部品番号 A-60545

ご使用前の準備

まわりを整頓してからお使いください。

- ・ 洗浄作業をすると、汚れた水が飛び散ります。まわりの状況をよく見て、支障がないように整理・整頓してから作業してください。

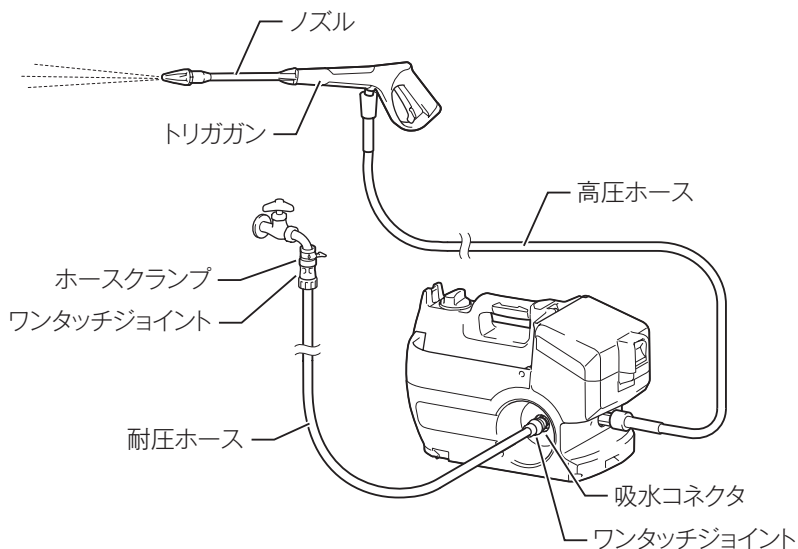
本製品を設置する

- ・ 平らな場所で、洗浄作業中に水がかからない場所を選びます。

市販の水道ホースを使用する場合

- ・ 水道の蛇口から、本製品の設置場所までの距離に応じた長さの市販の水道ホース（耐圧タイプ（メッシュ入り）、内径 14 mm ～ 15 mm、外径 20 mm まで（肉厚 2.3 mm 以上、3.0 mm 未満））をご用意ください。市販のホースバンドを使用するなど蛇口の形状に合った接続方法で、しっかりと蛇口と水道ホースを接続します。

■ 接続図



ご使用前の準備（バッテリーについて）

■ バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていません（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください）。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

■ バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、少し冷やしてから充電してください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

■ バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

ご使用前の準備 (バッテリーについて)

■ バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

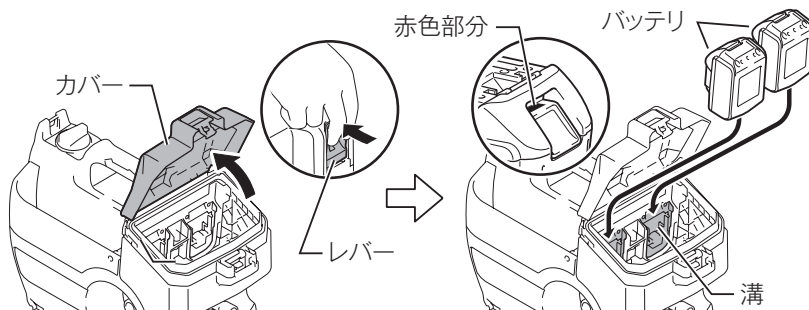
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

■ 取り付け方

1. バッテリーボックスのレバーを押し上げてカバーを開けます。
2. バッテリーを溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。
3. カバーを閉じます (レバーがロックがされていることを確認してください)。



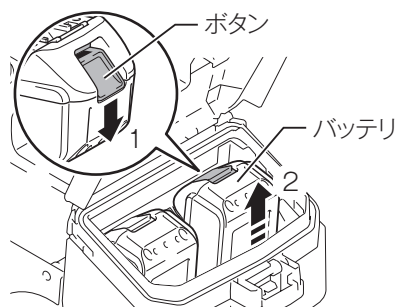
注

- ・ 必ず充電済みのバッテリー 2 本を取り付けてください。
- ・ バッテリーが 1 本の場合や、バッテリー 2 本のうち片方が充電されていない場合は電源が入りません。
- ・ カバーを必ず閉じた状態で使用してください。
- ・ ほこりや水などが入り、本製品およびバッテリーが故障する恐れがあります。

ご使用前の準備（バッテリーについて）

■ 取りはずし方

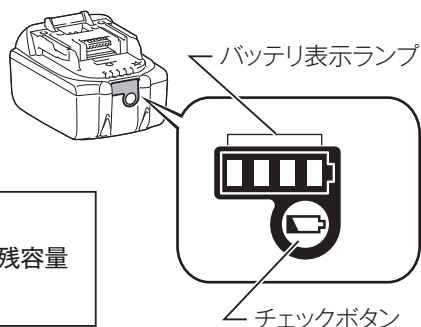
- ・ カバーを開け、バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。
- ・ バッテリーを取りはずした後は、カバーを閉じてください。



ご使用前の準備 (バッテリーについて)

■ バッテリー残容量表示機能

- ・ モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。
- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">■:点灯</div> <div style="text-align: center;">▨:点滅</div> <div style="text-align: center;">□:消灯</div> </div>	
■ ■ ■ ■	75% - 100%
■ ■ ■ □	50% - 75%
■ ■ □ □	25% - 50%
■ □ □ □	0% - 25%
▨ □ □ □	充電してください。
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">■ ■ □ □</div> <div style="text-align: center;">↓ ↑</div> <div style="text-align: center;">□ □ ■ ■</div> </div>	バッテリーの異常です。

注

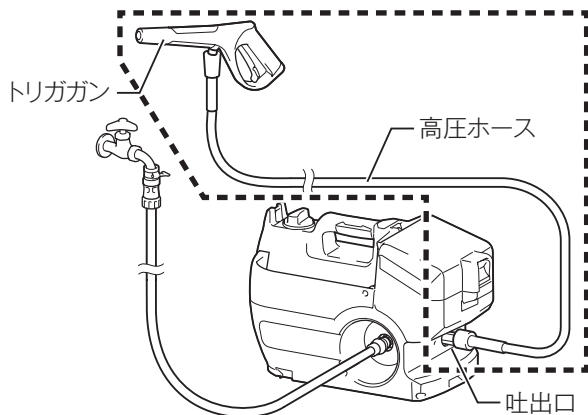
- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

ご使用前の準備（高圧ホースの接続）

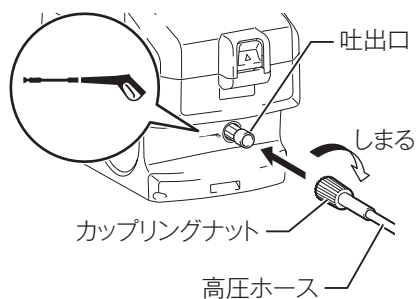
⚠ 警告

高圧ホースは、まっすぐに確実に取り付け、はずれないことを確認してください。

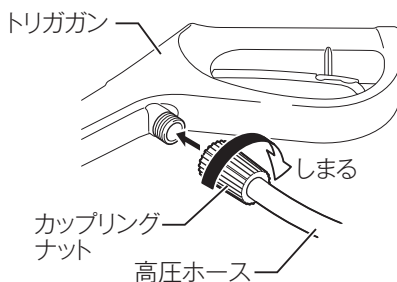
- ・ 高圧ホースがはずれた場合、けがをする恐れがあります。



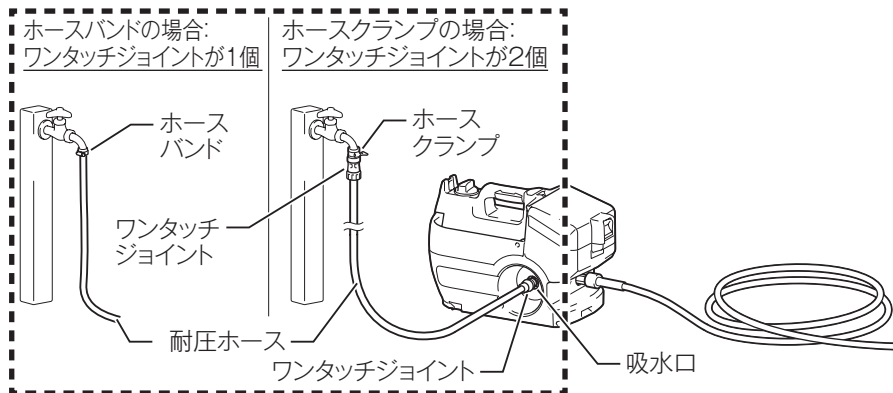
1. 高圧ホースを本製品の吐出口の奥まで差し込み、カップリングナットを右に回して締め付けます。



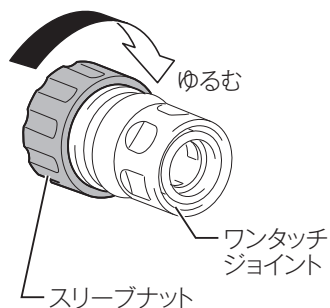
2. 高圧ホースをトリガガンの取り付け口の奥まで差し込み、カップリングナットを右に回して締め付けます。



ご使用前の準備（耐圧ホースの接続）

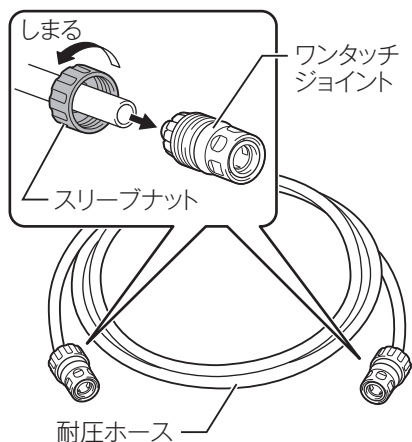


1. ワンタッチジョイントからスリーブナットをはずします。



2. 耐圧ホースにスリーブナット、ワンタッチジョイントの順に取り付け、スリーブナットを矢印方向に回して締め付けます。

*イラストはホースクランプで接続する場合です。
市販のホースバンドで接続する場合は、片方のみを取り付けてください。

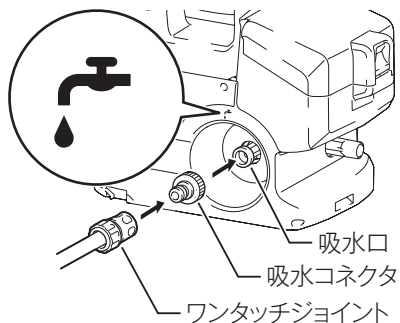


注

- ・ワンタッチジョイントは、耐圧ホースに確実に取り付けてください。
- ・耐圧ホースがはずれ、けがをする恐れがあります。

ご使用前の準備（耐圧ホースの接続）

3. 吸水口に吸水コネクタを取り付け、耐圧ホースのワンタッチジョイントを差し込みます。

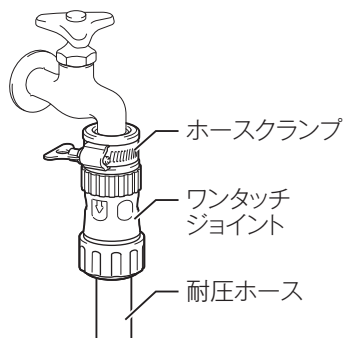


注

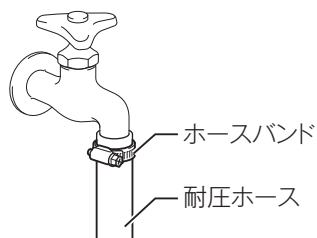
- ・ワンタッチジョイントは、耐圧ホースに確実に取り付けてください。
- ・耐圧ホースがはずれ、けがをする恐れがあります。

4. 耐圧ホースを水道の蛇口につなぎます。

- ・ホースクランプで接続する場合：
ホースクランプを蛇口に固定した後、ワンタッチジョイントを差し込み、耐圧ホースを取り付けます。



- ・市販のホースバンドで水道と接続する場合：
ホースバンドで蛇口に耐圧ホースを取り付けます。

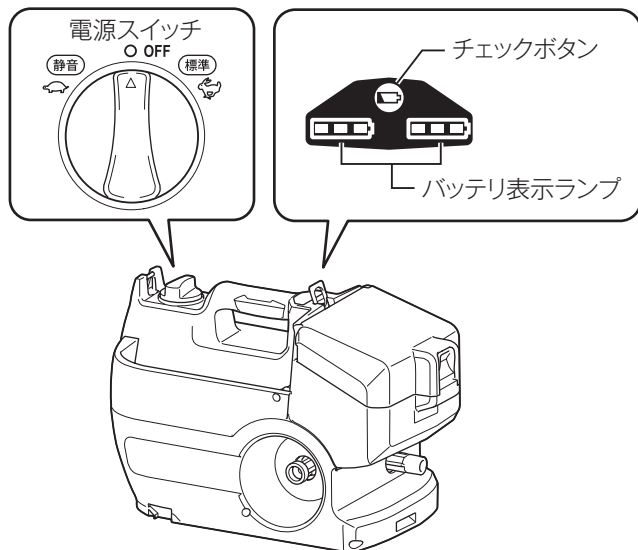


注

- ・耐圧ホースは確実に取り付けてください。
- ・水漏れの恐れがあります。
- ・ホースクランプは、蛇口の形状によっては取り付けができない場合があります。

バッテリー残容量表示機能

- ・ 電源を入れた状態で（ツマミを「静音」、または「標準」にする。）、チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプがそれぞれのバッテリー残容量を表示します。
- ・ バッテリーの消費量は気候条件や路面状況などによって異なります。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 □:消灯 ▨:点滅 	50% - 100%
	20% - 50%
	0% - 20%
	バッテリーの交換

使い方（スイッチの操作）

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

使用する際は必ず本製品を置き、安定した状態で使用してください。

- ・故障や思わぬ事故の原因になります。

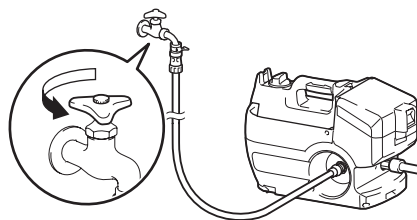
ノズルの噴射口を人や動物、または通電された電気装置に向けないでください。

- ・高圧水が噴射し、けが、感電の原因になります。

保護メガネなどの保護具を着用してください。

- ・高圧水が、けがの原因になります。

1. 水道の蛇口をいっぱいまで開けます。



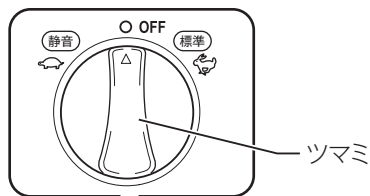
2. バッテリーを取り付けます（26 ページをご参照ください）。

3. ツマミを回してスイッチを入れます。

「静音」、または「標準」にすると電源が入り、「OFF」にすると電源が切れます。

「静音」：網戸の洗浄や庭の水撒きなどに適しています。また、バッテリーの消費と運転時の作動音を抑えます。

「標準」：乗用車や農機具などの洗浄に適しています。

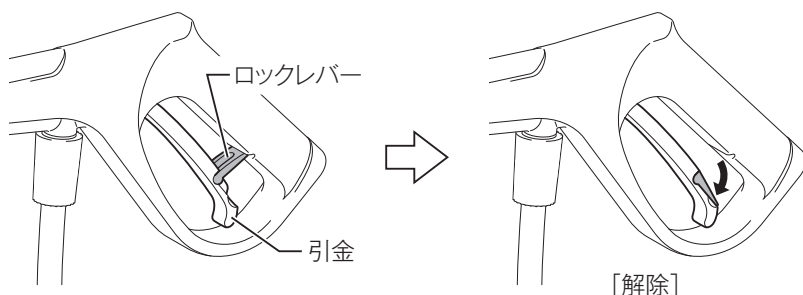


使い方（スイッチの操作）

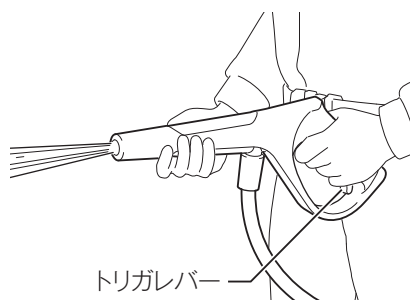
注

- ・ スイッチを入れる前に、水道の蛇口が全開になっていることを確認してください。
- ・ 給水されていない状態でスイッチを入れると故障の原因になります。
- ・ 水道水を使用する場合、水量は7 L/min 以上必要です。
- ・ 水量が少ないと本製品の能力を十分発揮できません。
- ・ 指定位置を越えて、ツマミを回さないでください。
- ・ 故障の原因になります。

- 4.** トリガガンのロックレバーを矢印方向に倒してトリガレバーのロックを解除します。



- 5.** 水圧が安定するまで、トリガレバーを引いて水を出します。
- ・ ホース内の空気が抜けると、水圧が安定します。



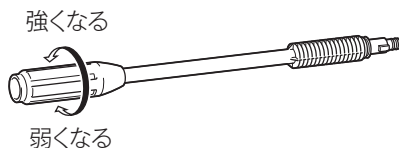
注

- ・ トリガレバーの中央を握って操作してください。
- ・ トリガレバーの端で操作すると、指を挟んでけがをする恐れがあります。

使い方（ノズルの選択）

6. ノズルを選びます。

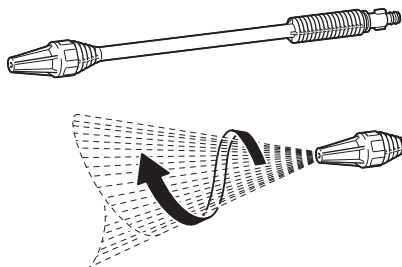
- ・バリオスプレランス
ノズルの先端を回すことで水圧の調整ができます。



注

- ・ノズルの先端を回して水圧の調整をする際、ノズルをトリガガンに押し込みながらノズルの先端を回さないでください。ノズルがはずれ、けがをする恐れがあります。

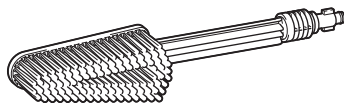
- ・サイクロンジェットノズル
直噴の水を高速で回転させながら噴射します。こびりついた汚れなどを広範囲で洗い流す作業に適しています。



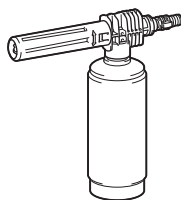
注

- ・車の塗装面やガラス窓など強度の弱い部分には使用しないでください。

- ・洗浄ブラシ（縦型）
ブラシで汚れを取りながら水で洗い流すことができます。



- ・泡ノズル
ボトル内の洗剤を吸い込みながら泡状の洗浄液を塗布します。



注

- ・必ず、中性洗剤をお使いください。アルカリ性や酸性の洗剤は使わないでください。

使い方（ノズルの取り付け）

⚠ 警告

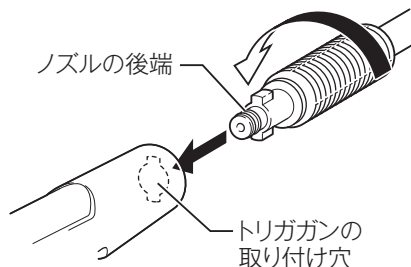
ノズルは、トリガガンに確実に取り付け、はずれないことを確認してください。

- ・ ノズルがはずれた場合、けがをすることがあります。

ノズルを取り付ける際は、トリガレバーをロックレバーでロックしてください。

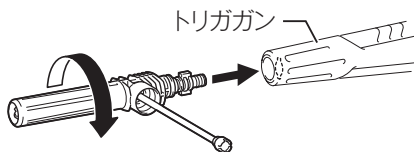
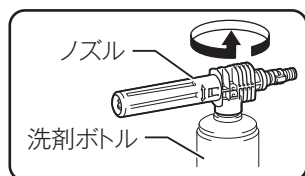
7. ノズルを取り付けます。

- ・ ノズルの後端をトリガガンの取り付け穴に合わせて奥まで差し込み、矢印方向に止まるまで回して固定します。

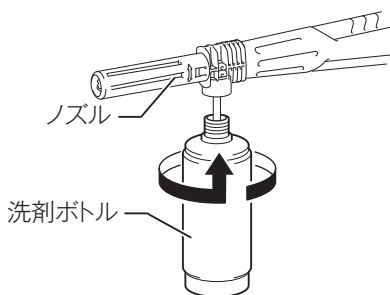


■ 泡ノズルの場合

- ・ ノズルを矢印方向に回して洗剤ボトルからはずし、トリガガンに取り付けます。



- ・ 洗剤ボトルに中性洗剤を入れて水で薄めた後、矢印方向に回してノズルに取り付けます。



注

- ・ 必ず、中性洗剤をお使いください。アルカリ性や酸性の洗剤は使わないでください。

使い方（本製品を収納ケースに設置）

⚠ 警告

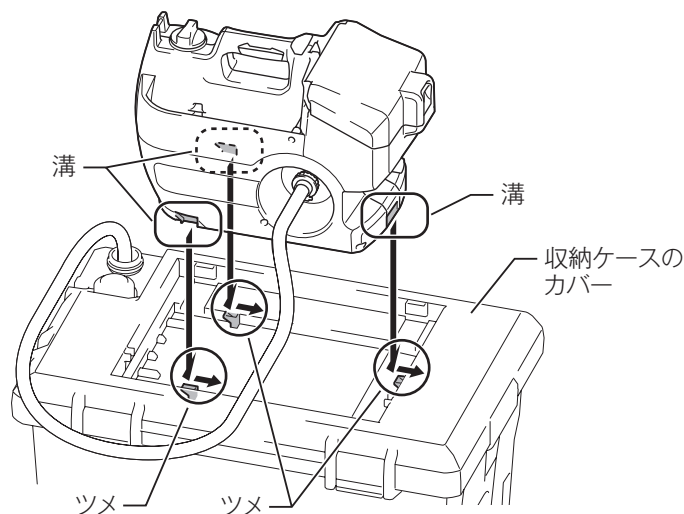
本製品を収納ケースに設置する前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スwitchを入れたまま設置すると、事故の原因になります。

本製品を収納ケースに設置する際は、水平で平坦な場所で行ってください。

- ・ 不安定な場所で行うと、思わぬ事故の原因になります。

- 1.** 本製品の溝（3 か所）を収納ケースのカバー上のツメ（3 か所）にはめ込み、スライドさせて固定します。



- ・ 取りはずすときは、逆の手順で行ってください。

注

- ・ 本製品の溝が収納ケースのカバー上のツメに確実に固定されていることを確認してください。
- ・ 本製品が脱落して、故障や事故の原因になります。
- ・ 収納ケースを無理に傾けないでください。
- ・ 本製品が脱落して、故障や事故の原因になります。

使い方（洗浄）

⚠ 警告

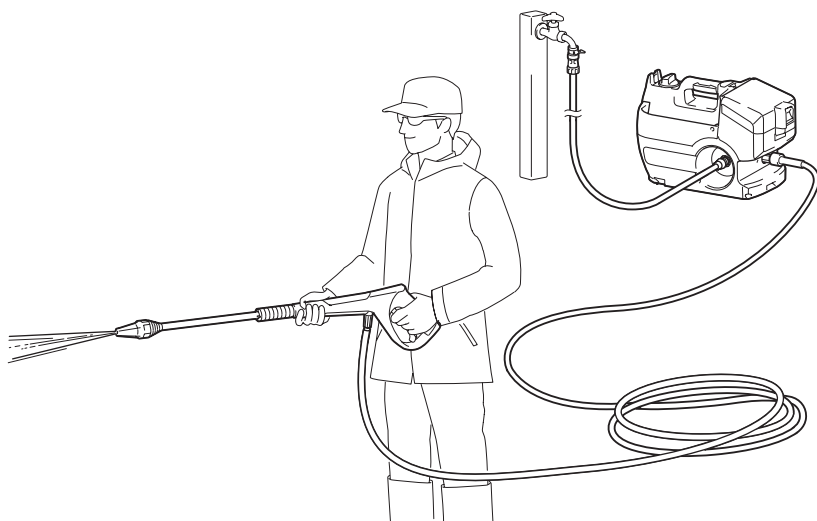
洗浄の対象物に損傷の可能性がある場合、目立たない部分で試してから使用してください。また、対象物とノズルの距離にも注意しながら慎重に作業を行ってください。

- ・ 高圧水による破損やはがれの恐れがあります。

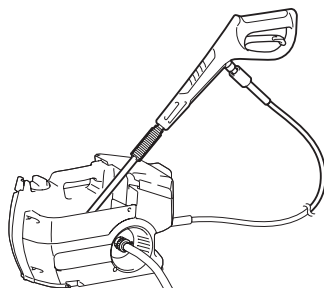
40℃以上の水は使用しないでください。

- ・ 故障の原因になります。

洗浄中は、図のようにトリガガンを両手でしっかりと保持してください。



右図のようにトリガガンを本製品に立てかけることができます。



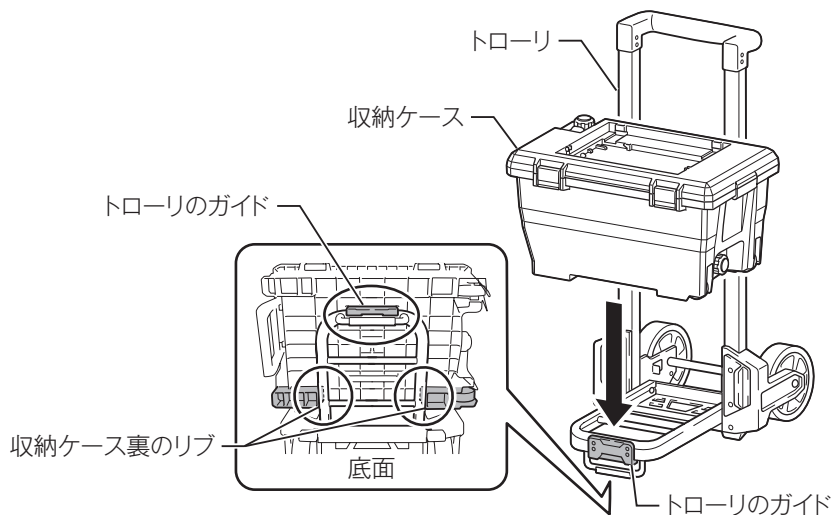
使い方（洗浄）

注

- トリガガンのトリガレバーを放すとモータが停止し、再度トリガレバーを引くと再始動します。
- トリガレバーを引いたり放したりする操作は、2秒以上の間隔をあけてください。2秒未満の間隔で操作すると、圧力スイッチが誤作動する場合があります。
- 運転を一時中断するときは、本製品のスイッチを切ってください。スイッチを切らずに放置した場合、自然減圧が生じ、何もしない状態で本製品が再起動する場合がありますが、異常ではありません。
- 1時間以上運転を中断するときは、本製品のスイッチを切ったうえで、トリガレバーを引いて圧力を抜いてください。圧力がかかった状態で長時間放置すると圧力スイッチが誤作動をおこし、起動できなくなる恐れがあります。万一、起動できなくなった場合は、59ページの対策をご確認ください。
- 作業中にホースを無理に引くと、本製品が転倒したり、部品が損傷したりする恐れがあります。
- 高圧ホースは折れ曲がらないように取り扱ってください。高圧ホースの損傷の原因となります。

使い方（トローリへの載せ方）

1. トローリのガイドを収納ケース裏の枠にはめ込みます。
2. トローリのフレームを収納ケース裏のリブ間に合わせます。

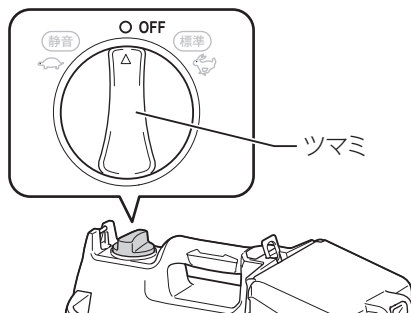


注

- ・ 収納ケースに水を入れた状態でトローリに搭載・運搬しないでください。
- ・ バランスを崩し、事故やけがの原因となります。
- ・ 収納ケースが変形し水漏れの原因となります。

使い終わったら

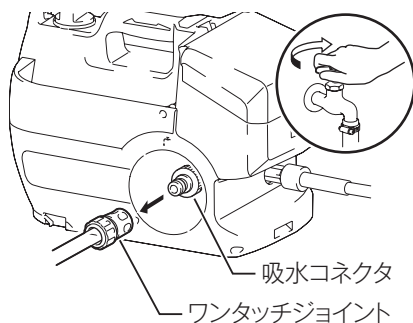
1. ツマミを「OFF」にして、スイッチを切ります。



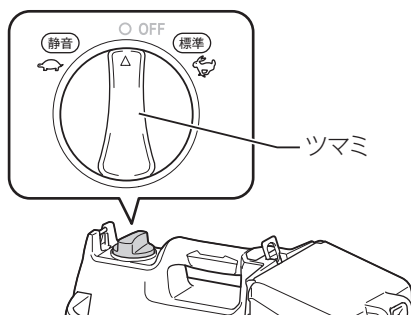
注

- ・ 指定位置を越えて、つまみを回さないでください。
- ・ 故障の原因になります。

2. 水道の蛇口を閉め、ワンタッチジョイントを手前に引いて、吸水コネクタから耐圧ホースをはずします。

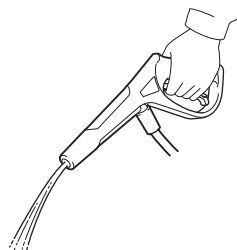


3. ツマミを「静音」、または「標準」にして、スイッチを入れます。



使い終わったら

4. トリガガンのトリガレバーを引いて空運転させ、本製品内部の水を抜きます。



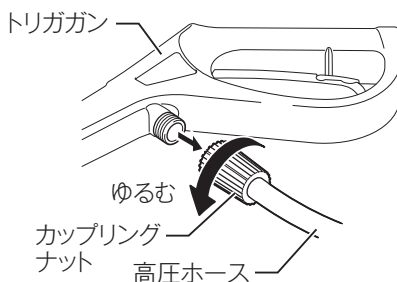
注

- ・ 水の噴射がなくなるまで行ってください。
- ・ 1分以上の空運転をしないでください。
- ・ 故障の原因になります。

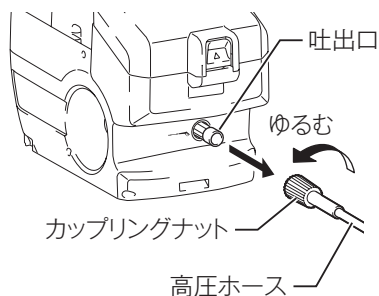
5. ツマミを「OFF」にして、スイッチを切ります。

6. バッテリーをはずします。

7. カップリングナットをゆるめて、トリガガンを高圧ホースからはずします。

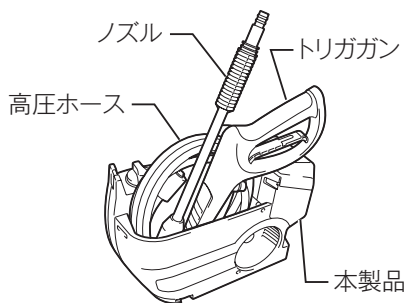


8. カップリングナットを左に回してゆるめ、高圧ホースをはずします。

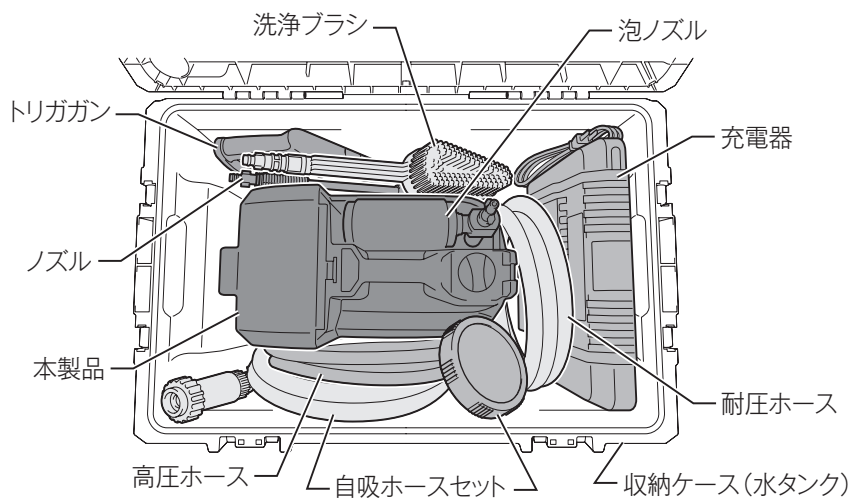


使い終わったら

■ 本製品への付属品の収納例



■ 収納ケースへの本製品および付属品の収納例

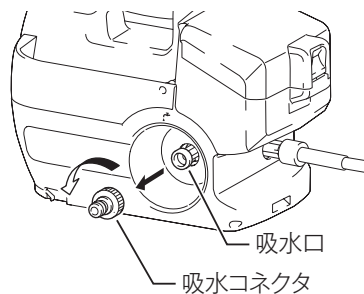


ため水を利用した使い方

水道がない場合は、自吸ホースセットを使って、ため水を利用することができます（標準付属の収納ケースが水タンクとしてご利用になれます）。

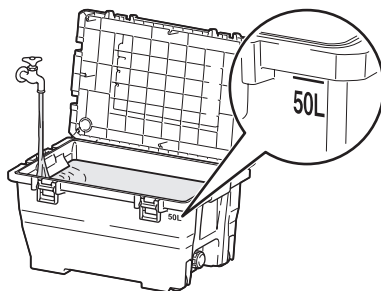
1. 本製品とトリガガンを高圧ホースで接続します。
(29 ページをご参照ください)。

2. 吸水コネクタを取りはずします。

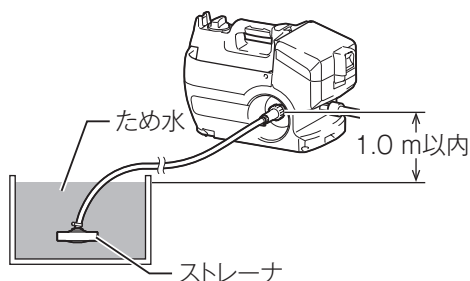


ため水を利用した使い方

3. 水タンクに水を入れます。50 L
まで入ります。

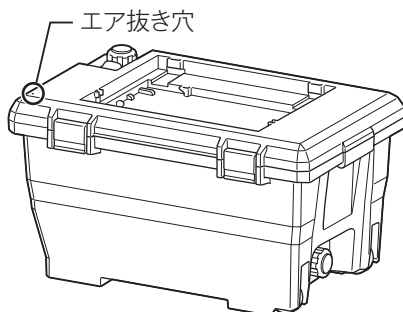


- ・ 吸い上げ可能な高さは 1.0 m 以内です。



注

- ・ 製品の収納時や水を入れたケースを運搬する際は、重さに注意してください。
- ・ 事故やけがの原因となります。
- ・ 下記の状態になると水タンクから水が漏れるためご注意ください。
- ・ 水タンクを揺らしたり、横倒しにする。
- ・ 過度に水タンクを傾ける。
- ・ 水タンクを傾斜させた状態で運搬する。
- ・ エア抜き穴が水に浸かる方向に傾斜すると、エア抜き穴から水が漏れるためご注意ください。

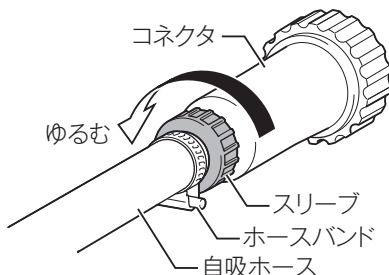


ため水を利用した使い方

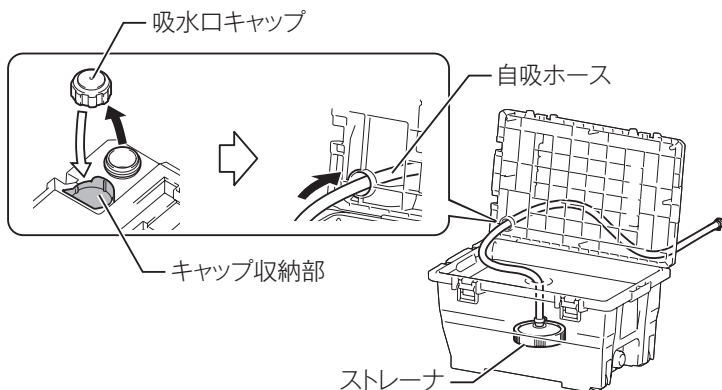
4. 自吸ホースセットのコネクタを保持しながらスリーブをゆるめて、コネクタを自吸ホースから取りはずします。

注

- ・スリーブを回す際は、ホースバンドに注意してください。
- ・事故やけがの原因となります。

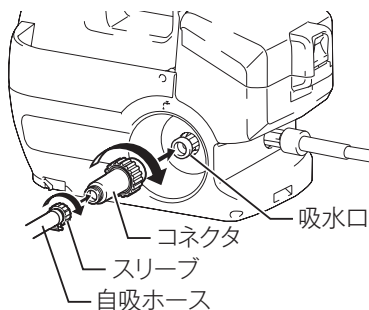


5. 水タンクの吸水口キャップをはずし、自吸ホースを図のように引き回します。はずしたキャップは収納部に置いてください。



6. 手順4でははずしたコネクタを矢印方向に回して、吸水口に取り付けます。

7. 再び、自吸ホースを保持しながらスリーブを回して、コネクタに取り付けます。



注

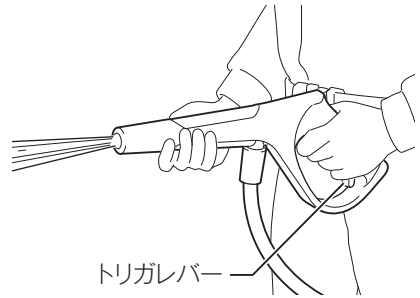
- ・本製品を収納ケースのカバー上に設置する場合、本製品の溝をカバーのツメ（3か所）にはめ込むように設置してください（37ページ参照）。

ため水を利用した使い方

8. バッテリーを取り付けます (26 ページをご参照ください)。

9. スイッチを入れます (33 ページをご参照ください)。

10. ノズルを取り付けない状態で、トリガガンのトリガレバーを握りながらスイッチを入れ、トリガガン先端から水を出して自吸ホース内の空気を無くします。

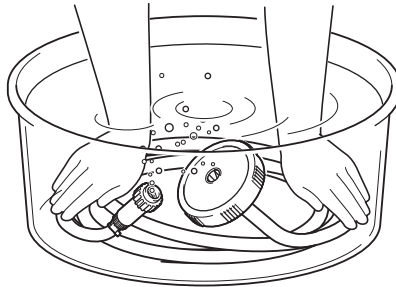


注

- ・ ノズルを取り付けたままトリガレバーを握っても、自吸ホース内の空気を抜くことができません。必ず、ノズルをはずして行ってください。

注

- ・ 自吸できない場合は、自吸ホース内に水を入れてください (呼び水)。



11. トリガガン先端より水が安定して噴射された後、トリガレバーを放してスイッチを切ります。

ため水を利用した使い方

- 12.** 作業に応じたノズルを取り付けて、洗浄をします（38 ページをご参照ください）。

注

- 自吸に時間がかかる場合は、ストレーナや自吸ホースセットのコネクタ（内部フィルタ）の目詰まりが考えられますので点検・清掃をお願いします。
- 1 分以上連続して空運転をしますとポンプ部が発熱し故障の原因となります。
- 川や池の水、砂や泥が混ざった水などは使用しないでください。故障の原因になります。

- 13.** 作業後は、排水口キャップをはずして水タンクを傾けて排水します。



注

- 排水後は内部をよく乾燥させてください。濡れたまま付属品などを収納すると、故障や錆びの原因になります。
- 水タンクを移動する際は、ハンドルを上げすぎないでください。水があふれたり、タンクが底付きをして破損する恐れがあります。
- 水タンクに水を入れたまま、長時間放置しないでください。水漏れや破損の原因になります。

保護機能

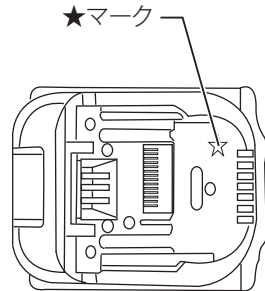
本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能
<ul style="list-style-type: none">・ 本製品、またはバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。・ バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
<ul style="list-style-type: none">・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ いったんスイッチを切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

★マークについて

図のようにバッテリーに★マークがあるバッテリーは保護機能を搭載しています。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

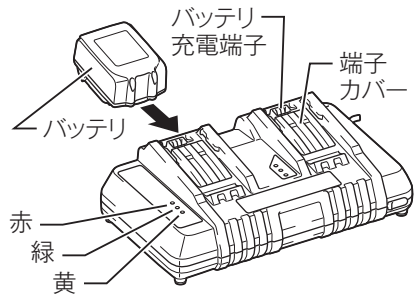
※保護機能については 49 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

充電器について

■ バッテリーの充電方法

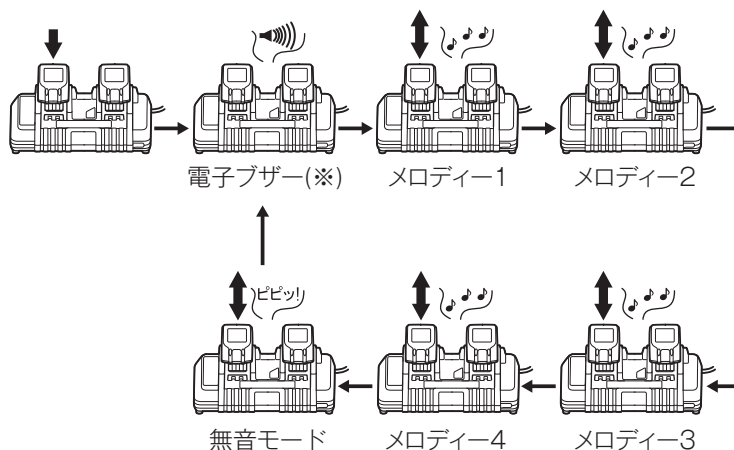
1. 2口急速充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを2口急速充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。
そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却します。
充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから2口急速充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

■ 充電完了メロディーの切り替え方法

1. 充電完了メロディーを切り替える充電口にバッテリーを差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。
2. このとき、素早くバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。
5. 「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません(無音モード)。
6. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音は鳴りません。
7. 設定した充電完了メロディーは2口急速充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。








(※) 出荷時は電子ブザーに設定されています。






充電器について

■ 充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
(通常充電のライト表示および表示内容)

ライト表示	点滅 点灯	表示内容
		充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
		冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
		充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0~80%を示します。
		充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80~100%を示します。
		充電完了「緑 1 個」点灯 電子ブザー またはメロディー

充電器について

ライト表示  点滅  点灯	表示内容
(オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)	
	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
(異常時のライト表示および表示内容)	
	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

充電器について

注

- DC18RD はマキタバッテリー専用の 2 口急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されずと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。
- バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度(10℃～40℃)やバッテリーの状態に応じて変動します。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - ×充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - ×バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - ×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、3 時間以上たっても充電が完了しない。
(表示ライトが「緑」に変わらない)。
- バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器について

■ 冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却も行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミ詰まりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

■ オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1 ~ 4 の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - 1 高温充電の繰り返し
 - 2 低温充電の繰り返し
 - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
 - 4 過放電の繰り返し
(過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。)

充電器について

■ USB 電源端子への接続

⚠ 警告

USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。

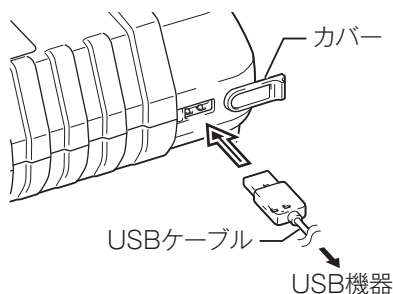
- ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

2 口急速充電器は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- ・ USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- ・ 1.5 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、2 口急速充電器に接続しないでください。USB 電源端子の最大出力電流は、1.5 A です。
- ・ 2 口急速充電器との接続には、USB 機器付属の USB ケーブルをご使用ください。
- ・ 使用後は 2 口急速充電器正面のカバーを戻してください。カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障につながります。
- ・ USB 電源端子に釘や針金が入らないよう注意してください。釘などが入ると充電器の故障につながります。

1. 本体正面のカバーをはずして、USB ケーブルで USB 機器と 2 口急速充電器を接続してください。
2. 2 口急速充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
4. 電源コンセントから 2 口急速充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

■ 充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

こんなときは？

不具合内容	原因	対策
動かない。	ポンプ内に圧力が残っている。	トリガガンのトリガレバーを引く。
	バッテリーが取り付けられていないか、取り付け方が不十分。 バッテリーの容量不足。	充電されたバッテリーを確実に取り付ける。
	電気回路の故障。	販売店、または当社営業所へご依頼ください。
	圧力スイッチ誤作動。	水道の蛇口につなぎ、トリガガンのレバーを引いて水を流す。 (水道の圧力で水が流れ、圧力スイッチの動きが改善します)。
水圧が上がらない。	ポンプが空気を吸い込む。	耐圧ホースをチェックする。 水道水の流量を増やす。
	フィルタが詰まった。	フィルタを清掃する。
	本製品内に空気が残留。	一度スイッチを切り、トリガガンのトリガレバーを握ったままの状態 で、再びスイッチを入れる。
	ポンプの故障、異常、高圧、開放 の故障。	販売店、または当社営業所へご 依頼ください。
	ノズルが消耗している。	ノズルを交換する。
	水道水の圧力が低い。	水道水の流量を増やす。
	ノズルにゴミやキズがついている。	クリーナピン（標準付属品）で ノズルを掃除する。 ノズルを交換する。
水の出方が一定でない。	ノズル穴の詰まり。	ノズル穴をクリーナピン（標準 付属品）で掃除する。
	吸水が充分に行われない。	自吸ホースをチェックする。 水道水の流量を増やす。
	吸水温度が高すぎる。	水温を下げる。
	高圧開放の調整不良。	販売店、または当社営業所へご 依頼ください。
異音がする。	ポンプの温度が高すぎる。	水温を下げる。
	ポンプに空気が入っている。	販売店、または当社営業所へご 依頼ください。
オイルが漏れる。	オイルシールが摩耗している。	販売店、または当社営業所へご 依頼ください。
水が漏れる。	Oリングが摩耗している。	販売店、または当社営業所へご 依頼ください。

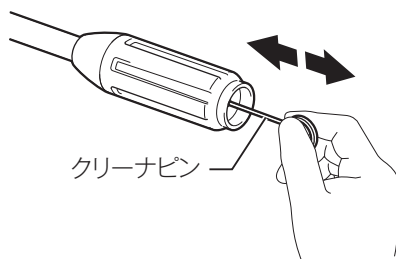
保守・点検について

⚠ 警告

- 保守・点検の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。
- ・ バッテリーを差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

ノズル穴の清掃

- ・ ノズル穴が詰まらないようにクリーナピン（標準付属品）で定期的に清掃してください。

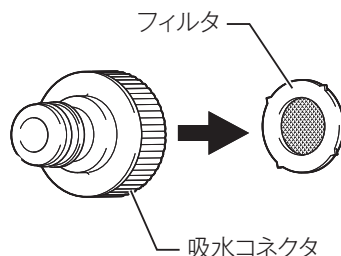


フィルタの清掃

- ・ 本製品が正常に働くようにフィルタは常にきれいに保ってください。フィルタが詰まると、ポンプの力が落ち水圧が低くなります。

■ 吸水コネクタ

1. フィルタを吸水コネクタからはずして清掃します。
2. 元通りに取り付けます。



注 ・ フィルタをキズ付けたり、変形させないように注意してください。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ 本製品を高圧水で洗浄しないでください。
- ・ 清掃の際は、バッテリー部、モータ部、電気接続部へ水を侵入させないようにしてください。
- ・ 直射日光や雨を避けられ、高温にならない乾燥した屋内に保管してください。
- ・ 保守や点検は雨を避けられる場所で行ってください。
- ・ 使用後は付着したゴミなどを取り除き、乾燥させてから保管してください。季節や地域によっては凍結による故障の恐れがあります。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

主要機能

主要機能	モデル	MHW080D	
電動機		DC ブラシレスモータ	
バッテリー		リチウムイオンバッテリー	
		BL1860B (容量 6.0 Ah)	
電圧		36 V (18 V × 2)	
常用吐出圧力		「静音」運転時	3.0 MPa
		「標準」運転時	5.5 MPa
最大吐出圧力		8.0 MPa	
常用吐出水量		「静音」運転時	4.0 L/min
		「標準」運転時	5.5 L/min
最大吐出水量		6.3 L/min	
最大自吸高さ		1.0 m	
最高吸水温度		40 °C	
本製品寸法 (長さ×幅×高さ)		438 mm × 218 mm × 269 mm	
質量 (BL1860B 2 個装着時)		6.7 kg	
高圧ホース長さ		5 m	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881E07C3

IWT